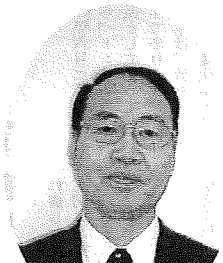
第49号
http://www.nisshiren.com/

あ～す・れっく
＝日資連界報＝

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
TEL 03（3263）9101
発行人　紺野武郎
編集人　星本昭次
印刷　株式会社資源新報社

＝ご挨拶＝
さらなる飛躍の年に
会長　紺野武郎



謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、会員各位におかれましては、日頃より日資連の活動に対しまして格別のご理解とご支援を賜り心から御礼申し上げます。

昨年は、世界同時不況の後遺症が癒えぬまま日本経済は寒冷化の一途を辿り、さらには政権交代の混乱も加わって、政治経済面が歴史に残る激動の一年となりました。本年も、姿の見えない国際金融不安など不透明な要素が多く、予想し難い一年になることは必然です。また鳩山新政権は、厳しいCO2削減値を国際公約し、COP15では議論紛糾しながらも世界の大きな方向性が示されて、地球温暖化対策は緊急課題として具体策を顕示する段階になりました。

経済寒冷化と地球温暖化の対策は、清濁相反する面も多く、特に動脈産業の一方的な論理だけでは解決策が見出せなく、いよいよ静脈産業主導の真の3R型循環環社会実現のときが来たようです。

我が国の再生資源類のマーケットも、この数年間の「ジェットコースター相場」に振り回され、業界の明確な将来の指針を議論することなく経過してしまったように思いますが、今では物流そのものが失速気味となって、従来の市況対策では通用しない根本的な見直しも迫られる状況となってきたようです。

日資連改革の第一ステージは、内部組織強化策と社会的地位の明確化でした。まだまだ道半ばでありますが、一昨年には経済産業省の認可団体になり、課せられた使命と責任の重さを自覚し、リサイクル社会に貢献することを宣言しました。

このような環境の中で、改革の第二ステージを企画推進する段階に来ましたが、例えば「静脈産業協働体構想」と言ったような業界全体の大きな課題に取り組む時期かと思います。

日資連は、再生資源全般を最前線で取り扱っている団体として、この構想の牽引役を務める責任がある筈です。業種や国境の垣根を越え、お互いの業態や機構を尊重しながらも、共存共栄を目指した静脈産業の大同団結を図らなければ、経済と環境を両立させる資源循環型社会の新たな提言を行う資格は得られません。各団体が実施している優良事業者の「認定制度やリサイクル化証明書」の統一化そして法制化なども進める必要があります。

全国の会員各位の理解を頂いて更なる組織拡充を進め、関係機関・関係団体のご指導を頂きながら、静脈産業の革命に繋がる新たな飛躍の年になることを切望いたします。

本年六月には、沖縄県において全国大会を開催する準備をして頂いています。また、三年続けて実施して好評を頂いた研修会も、さらに充実した企画のもと継続し、知識情報の共有をして参りたいと考えています。

何卒本年も、倍旧のご指導ご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして新年のご挨拶と致します。

循環型社会の構築進め
衆議院議員　大畠　章宏

皆さん、昨年の総選挙では、力強いご支援を賜り本当にありがとうございました。お陰さまで七回目の当選を果たす事が出来ました。同時に、十一年前に現在の民主党を結成して以来、長年にわたる悲願でありました「政権交代」を、皆さんの一票の力で実現し、やっと欧米先進国と同様に、近代民主主義国家としてスタートする事が出来ました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

さて昨年、鳩山総理は「人間らしい社会とは、本来、こどもやお年寄りなどの弱い立場の方々を社会全体で支え合うもの」と演説し、さらに「国民が安心して暮らせる『人間のための経済』への転換を図ります」と表明しました。私たち民主党は、「国民の生活が第一」の政治、すなわち税金の無駄使いをやめてふるさとと国民の暮らしを支える政治を実現するため、政権公約（マニフェスト）の政策を、地域の実情をよく踏まえ、現場主義で対応し、全力を挙げて取り組んでまいります。

さて鳩山総理は地球温暖化防止のために「CO2削減二五%構想」を表明しました。これは皆さんからご要請を頂いております資源循環型社会の建設と密接な関係があります。これまでは市場原理主義でここまで来ましたが、政権交代を契機に、資源循環型社会を目指さなければなりません。そして、「人間のための経済」へ転換し、年金、医療・介護、教育そして農林漁業、中小企業政策など地域経済と国民生活と雇用の安定のための政策を全力で推進します。その政策を確実に前進させるために、七月の参議院議員選挙での民主党へのご支援を節にお願い申し上げます。

今年一年のご家族揃ってのご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

新たな成長戦略を
参議院議員　秋元　司

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は一昨年からの世界金融不安の波を受け、大変厳しい経済状況が続いております。一刻も早い景気回復を目指し、内需拡大に向けた対策を打ち続けた一年でありました。その成果として、一部、消費・設備投資等が、前月比プラスの傾向が示されましたが、九月政権交代以降、一次補正予算の執行停止の中で、また厳しい状況となってしまいました。政権交代は民意であります。しかし、政策、予算等新しいものが生れてくるまでの間、その間は混乱するだけに、冷静な判断が必要であります。

近年の資源価格は中国等海外の影響も受けて安定を欠いており、不安定な状況が続いております。せめて、国内価格の安定を務め、デフレからの脱却を目指すべきであります。

そのためには、エコ社会への対策を含んだ成長戦略を打ち出し、実行し、活力ある社会づくりに全力を注ぐべきであります。厳しい財政状況ではありますが、財政出動と税制改正を行い、エコ社会への政策誘導を行う事により、環境技術立国を目指すべきであります。

今こそ環境と経済の融合を行うべきであり、この経済状況の中でピンチをチャンスに変える、一つのきっかけであると思います。

業界におかれましては、これまで3Rの精神でいち早く資源循環型社会への取り組みを行っていただいたおかげで、リサイクルが日常化しました。いよいよリサイクル商品等の付加価値を高め、環境ビジネス全体も大きく育つチャンスであると思いますので、大いにご活躍ください。

本年も業界のより一層もご発展を、心よりお祈り申し上げます。

ジャパンブランド構築へ
全国製紙原料商工組合連合会　理事長　栗原　正雄

新年おめでとうございます。昨年を振り返りますと一昨年に起きたリーマンブラザーズの経営破綻を景気とした世界的な不景気により、我が国の紙生産量と古紙消費量は一気に急減し、さらに古紙の国際マーケットも十一月に崩壊状況になり、古紙輸出は一時ストップ状態となってしまいました。年間最大発生月の十二月を前にして暗澹たる思いに包まれたものでした。古紙センターさんの緊急備蓄一万トンを実施してもらい何とか古紙の受入制限をせずに乗り切ることができました。

その当時と比べますと昨年末は余剰在庫も十一月末には一掃されて年末の受け入れには支障がなかったものと思われます。昨年の一月から九月までの古紙回収量の統計が前年同期比九三%と発表されておりますが、〇八年末の流通在庫が約七〇万トンあり、この問屋在庫が昨年中に放出され入荷量（回収量）に加算されているので実質、昨年の回収量は一割減の二〇〇〇万トン強となったものと思われます。又、消費量は約一五%減少して一六〇〇万トン台に減少したと思われます。又、古紙の輸出量は四七〇万トン強となり、適正輸出量より余分に輸出され、その結果、メーカー在庫がその分減少したものと思われます。いずれにしても古紙の国際マーケットが復活して、古紙回収率が八〇%を達成したと思われることは喜ばしいことと存じます。

全原連で展開しています優良性評価事業も昨年中は順調に推移しました。古紙商品化適格事業所として認定された数は八〇〇事業所を超え、又、リサイクルアドバイザーは一九〇〇名を超えました。これらの動きに付随して昨年にジャパン・ブランド制定委員会が発足し、次年度中の運用を目指して準備を進めております。我が国の古紙の品質をさらに向上して、古紙利用率のアップを図ると共に国際競争力の強化につながれば大変喜ばしい事と存じます。

本年も全原連で展開しております古紙近代化推進事業に御支援、御指導賜りますよう心よりお願い申し上げます。

強靭な産業構造構築へ

経済産業省産業技術環境局
リサイクル推進課課長　横山　典弘

平成二十二年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より循環型経済社会の構築を目指す各種政策に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、環境制約・資源制約がますます高まる中、循環型社会の形成を通じて、これら制約に打ち克つ、強靭な産業構造の構築を図っていくことが喫緊の課題をなっております。また、国際展開も含めて、関連産業を成長の原動力としていくことも必要です。

このため、経済産業省は、以下の三点の課題に重点的に取り組んで参ります。

第一に、循環型経済社会の構築を目指す各種政策に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、環境制約・資源制約がますます高まる中、循環型社会の形成を通じて、これら制約に打ち克つ、強靭な産業構造の構築を図っていくことが喫緊の課題をなっております。また、国際展開も含めて、関連産業を成長の原動力としていくことも必要です。

このため、経済産業省は、以下の三点の課題に重点的に取り組んで参ります。

第一に、循環型経済社会と低炭素社会の融合を図って参ります。

京都議定書の第一約束期間を迎えるとともに、低炭素社会実現に向けた社会的要素が一層高まってきているところです。

3R政策は、単純焼却の回避や天然資源等を原料として行う素材・エネルギー供給の代替により、温室効果ガスの排出削減や省エネルギー効果に大きく寄与します。このため、特に廃プラスチックなどの化石系資源のリサイクルについては、都市油田対策と位置づけ、回収システム実証や高精度・高効率なプラスチックリサイクル技術の開発を、今後も進めて参ります。

第二に、希少資源の節減や有効利用の更なる推進を図って参ります。

今後の普及が期待される電気自動車のモーターや蓄電池、太陽光パネル等の製品に多く含まれるレアメタル等の需要拡大が見込まれる中、リサイクルによるレアメタル安定供給確保の重要性が高まっています。また、依然として回収の進まない携帯電話のリサイクルも重要な課題です。経済産業省では、製造段階における環境配慮設計の更なる推進、事業者や市町村による製品の回収ルートの確立に向けた実証実験の実施、そしてレアメタルの回収技術開発の推進等をさらに進めて参ります。

第三に、国内資源循環と国際資源循環との接合を図って参ります。

国内市場が成熟する中で、我が国リサイクル産業は、経済発展に伴い廃棄物関連のマーケットが拡大することが予想されるアジア市場において、ビジネスを展開していくことが長期的な成長の鍵となります。アジア全体が環境保全と両立した持続可能な経済発展を遂げるために、我が国で蓄積された3R関連の制度や技術を各国へ移転し、アジア圏での循環型社会を実現することが課題です。

経済産業省では、アジア各国との政策対話等を通じて、リサイクル分野の制度構築支援や技術協力を行うための情報交換を行って参ります。また、エコタウン協力については、今後、中国以外のアジア各国との間で同様の取組を開始していきたいと考えています。

本年も、循環型社会の構築に向けさらに努力を重ねて参ります。皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の御健勝と御多幸を祈念しまして、新年の御挨拶とさせて頂きます。

付加価値創造が課題に

㈳日本鉄リサイクル工業会
会長　中辻　恒文

新年明けましておめでとうございます。

昨年度は（社）日本鉄リサイクル工業会の活動に対し、深いご理解と多大なるご協力を賜り、御礼申し上げますとともに、本年も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度の鉄リサイクル業界は、経済環境の悪化から統計史上初めてであろうと思われる対前年度比三五%以上の発生数量減少となり、更に国内での需要が発生以上の減少となる大変厳しく、混沌とした年でありました。長い鉄リサイクル業界の歴史におきましては、価格面における長期に亘る低位推移や大幅な上下変動への対応システムは存在します。しかし、単年で終わらず、複数年度に及ぶ可能性がある数量面での激減という事態は初めての経験であり、今年は各事業体のみならず業界としての付加価値を如何に再構築して行くかが課題であると考えております。

本年度も経済環境一般で考えれば、大変厳しい年である事は間違いないと考えていますが、片や鉄リサイクル、或いは循環資源ビジネスには、大きな展望と成長市場が国内外に開けていることを再認識すべき年であり、成長市場に対して積極的な取組みを開始すべき年であるとも思います。

一つは鉄スクラップ事業で培った事業展開のノウハウや経営ノウハウなど、鉄リサイクルでのソフトウェアは、鉄に関連する循環資源には全て応用展開出来るものであります。自動車リサイクル、家電リサイクルなどに取り組んだ企業が各種再生資源で独自の展開を図り、昨年度も堅調な業績を残している事は、大きなヒントとなるはずです。

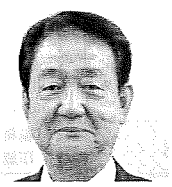
その際に大切なのは、我々が静脈産業という既存他社や仕入れ先との連携プレイの方が競争よりも、双方にとってより大きい成果が得られる業界にいることを認識しておくべきかと存じます。

もう一つは日本で培ったリサイクル技術や経営ノウハウを駆使すれば、成長を続けるアジア市場においては大いに力を発揮出来ることです。鉄スクラップはもちろんですが、非鉄スクラップも国際商品としての長い歴史がありますし、紙、プラスチック、全ての循環資源が今や国際商品となりつつあります。単に自社商品を輸出するという観点からだけではなく、アジアを同一市場とみなし、回収から処理、販売の領域をもう少し広い視野で再構築してみますと、各事業体としての蓄積と創意工夫を活かす機会が的確に捉えられ、新しいビジネスモデルを作り上げるも難しいことではないと認識しています。

最後に、世界中で今循環資源はCO2削減の有効な切り札となっており、社会が循環資源ビジネスを応援しています。成長市場に着目し、社会の要請に応え、着実にリサイクル実績を応用展開すれば、大不況の中でも業界の付加価値創造と再構築は早期に実現出来るものと確信しております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げ新年のご挨拶とさせて頂きます。

「開かれた中央会」実現へ

全国中小企業団体中央会会長　鶴田　欣也



新年明けましておめでとうございます。

平成二十二年を迎えるにあたり、全国の中小企業の皆様並びに組合を始めとする中小企業連携組織関係の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年六月に佐伯前会長からバトンを引き継ぎ、会長として初めて迎える新年であります。

昨年は、政権交代という大きな変化がありました。中央会関係についても、組合法施行五〇周年・団体法施行五〇周年記念式典が開催されるなどの節目の年でした。景況は、過去最大規模の経済対策等により、最悪期を脱し、持ち直しつつあると言われましたが、経済効果の息切れとともに、二番底に陥る懸念が広がりました。中小企業は、大幅な需要不足に基づく競争激化により、低価格受注や販売単価の下落に苦しみ、デフレリスクが強まり、雇用問題が一層深刻化し、先行きが見通せない経済社会情勢の中で、新年を迎えることとなりました。

本年こそは、自律的な景気回復軌道に乗る年としたいものでありますが、円高、設備投資の抑制、消費者心理の冷え込み、公共投資の削減など景気への懸念材料が多く先行きは極めて厳しい状況にあります。

このような情勢下にあって、中小企業がわが国経済の活力の源泉として、その役割を果たしていくためには、成長するアジア諸国との連携による外需拡大、低炭素社会や健康長寿社会の実現に向けた成長産業への積極的な内需振興等を図り、自らがグローバル化、環境・エネルギー技術の高度化、健康・医療・介護サービスの高付加価値化に積極的に取り組むことが必要であります。

一方において、経営環境の厳しさが続く中では、経営資源に制約のある中小企業は、個々では解決し難い課題も多く、中小企業組合をはじめとするネットワーク組織を活用し、経営資源を相互補強することにより、新事業を展開していくことが重要であります。

本年は、予算編成、税制改正、経済成長戦略の策定や地域主催・地方分権の推進など、景気を含めて中小企業をとりまく環境は、厳しく変化することが予想されます。

このような中にあって、ブロック会長会への出席、トップセミナーの開催などを通じて、都道府県中央会の会長との対話の場をつくり、「開かれた中央会」を実現し、中央会及び組合等連携組織の発展に全力をあげて参る所存であります。

中小企業並びに中小企業連携組織関係の皆様におかれましては、極めて厳しい情勢下にはありますが、新たな年を迎え、決意を新たに中小企業の振興・発展のために力強く邁進されますことをご期待申し上げますと共に、本年が皆様にとってよい年になりますようご祈念申し上げまして、私の年頭のご挨拶と致します。

～札幌市の「雑紙回収」について～

昨年七月の開始から半年を経て、北海道新聞に次の様な記事が掲載された。

「札幌市がリサイクル目的で新たに回収している雑紙のうち二五%を固形化燃料（RDF）として処理され、市民の分別努力が台無しになっている。」

日資連ではここに至る経過をまとめ、ホームページ・トピックスに掲載中です。ご覧下さい。

段ボールのリサイクルは
次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後とも
リサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
（http://www.danrikyo.jp）で閲覧できます

東京都中央区銀座3－9－11 紙パルプ会館
（全国段ボール工業組合連合会内）
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

地域パワーの発揮を

古紙問題市民行動ネットワーク代表　中村　正子

明けましておめでとうございます。

古紙ネットが発足したのは一九九三年四月のことですから、日本再生資源事業協同組合連合会の皆さんとのおつきあいも一七年に及ぶことになります。

主には東京都資源回収事業協同組合を通しての交流になりますが、昨年十二月のエコプロダクツ展では共同でリサイクルクイズ・アンケートを行いました。小さなブースで動きづらいなか、仕事や地域イベントで多くの市民に対応して鍛えられた東資協メンバーの腕が充分に発揮されて、頼もしいパートナーとしての存在を実感しました。

寄贈してもらった古紙一〇〇％トイレットペーパーのおかげもあって、老若男女三六六人の回答を得ることができました。集計してまとめたのですが、予想以上の面白い結果が出ています。

この一七年をふりかえると、まず、四〇代だった私は六〇代になりました。「大切なのは心の若さや柔軟さ」という思いが、一人よがりな負け惜しみにならないように、よほど注意せねばなりません。

古紙ネットの存在も、古紙偽装問題の発覚もあり、オブザーバー参加とはいえ、環境省グリーン購入法「紙類・印刷分科会」に声がかかる程度には周知されたようです。

しかし、最も大きな変化は、日資連が経済産業省産業技術環境局を原局として認可されたことではないでしょうか。

持続可能な古紙循環システムを目指して活動してきた市民団体・古紙ネットからすれば、古紙リサイクルの輪を担う回収業界、問屋業界、製紙業界には連携して輪をまわしてもらわねばなりません。そのためには業界の大小を超えて、業界団体それぞれの「存在力」が問われます。日資連の原局認可は、その存在が社会的に認知されたことであり、今後、日資連の存在力をいかに発揮するのかが問われるのだと思います。

日資連には、全国の各地域で市民・消費者に密着して仕事をしているからこそのパワーと存在感を、これから充分に発揮してほしいと願っています。

認定制度発展で地位向上を

認定審査委員会委員長　福井県立大学地域経済研究所准教授　小川　雅人

新年あけましておめでとうございます。昨年末ポスト京都議定書の合意・採択を目指す第十五回締約国会議、いわゆるＣＯＰ15がコペンハーゲンで開催されました。結論は持ち越され、本年も協議を継続することとなりました。しかし温暖化ガス削減の取り組みは待ったなしです。

産業界としても各企業が持続可能な成長戦略を持ち資源循環型社会形成を目指さなければなりません。日資連は廃棄物の削減・再利用を推進する先頭に立っていますが、役割はますます重要になってきます。日資連が推進する再生資源物の回収、流通についての認定制度は、会員企業の信頼性及び社会的地位を高めてきました。その審査会の委員長を拝命し、身の引き締まる思いです。

私事ですが、ここ数年「環境ビジネス」について交通、農業、地球物理を専門とする研究者と共に研究を進めてきました。視点としては持続可能な社会形成のため「補完性原理」に基づく「自助・共助」をどう進めるかです。例えば企業、家庭、行政の今後さらに必要となる役割についてです。

企業は環境経営の考え方を進化させています。家庭も環境意識を高め、地域社会全体で環境活動をどう進めていくか、また地方行政としても自然環境との調和をどう図っていくかという課題があります。企業、家庭、行政それぞれが役割を果たすことが重要です。どこかのセクターだけが推進すればよいということではなことは当然です。

日資連の認定制度を全員でルールを守り、この制度をさらに発展させることが温暖化ガス削減に取り組むことであり、一層の組合員企業発展と業界信頼性の向上につながります。

末筆になりましたが、日資連のますますのご発展と会員各企業のさらなるご隆盛を祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。

登山も商売も体力勝負

東北六県再生資源組合連合会会長　小野寺　盛

新年あけましておめでとうございます。

昨年は一昨年のリーマンショックを引きずり、どうなることかと悲愴な気持ちで迎えましたが、幸いにもみなさん、なんとか年を越すことができた。そのことをまず祝いたい。

東北資連は昨年後半に研修委員会事業のテーマを「二酸化炭素削減九十年比二五％削減への挑戦」と決め、その方向で各種の事業を行うように研修委員会に指示しました。

昨年末に福島県の郡山市で開催された「二酸化炭素削減セミナー」は福島県再生資源協同組合連合会の主催でしたが、このイベントを協賛させていただきました。多くの方に参加していただき、国のルール作りや東北経済産業局に「検討委員会（仮称）」という当業界の諸問題を一緒に解決していく仕組みを作っていただきました。

二月十日には仙台で「チャイナシンポジウム」を開催します。ＣＯＰ15でもわかるようにあらゆる面で「中国」をきちんと理解することが重要です。朱建永さん、徐静波さん、それに伊藤忠商事㈱中国研究所長の古屋明さんをお招きします。

また、四月二十一日にはこれも仙台市で「次世代商品開発セミナー」をやります。間伐材や剪定木、雑草、枯れ葉、落葉等の木質系セルロースから低コストでエタノールを製造できる技術やファイバー類の新たなリサイクル技術などの紹介を行います。京都大学の植田充美先生、神戸大学の近藤昭彦先生、三重大学の田丸浩先生、関西化学機械製作㈱代表野田秀夫さん、それにナカノ㈱さんからどなたかお招きすることになっています。

一方で我々の扱っている商品がどの程度の二酸化炭素削減効果があるのかという指標を確定する作業も関連団体と協力して行い、九月に予定している秋田大会で公表し、業界のツールとして取り入れていきたいと考えています。

東北資連傘下の事業者の六七％が日資連の再生資源回収事業者認定制度に登録し、リサイクル化証明書を武器に商売の拡大を図っています。この分野でもさらなる使用促進を図っていきたいと考えています。

暇を見つけては趣味の「登山」をしています。山登りは商売につながる側面を持っています。様々なことを学ぶことができる。商売も山登りも体力が最も大切なことです。今年も元気いっぱい頑張りたいと思っています。

九月の東北大会にはぜひご参加ください。

強固な組織体制へ

日資連中国地区地区長　杉本　邦夫

明けましておめでとうございます。

日資連は一昨年の十二月に、先輩諸兄の不断の努力が実り経済産業省リサイクル推進課の認可団体となり、これからます飛躍ができると思われました。しかしながら昨年はリーマンショックによる世界同時不況に陥り、我が国も同様に一〇〇年に一度と言われる不況の中で、我々業界に於いても取扱量、取引高もご多分にもれず落ち込み、大変苦労する一年だったと思われます。

このような状況下ですが本年、日資連としてはより一層の組織率の向上を図るべく、未加入地区へのアプローチを積極的に取り組むと共に、限りある資源に対してリサイクルの重要性がさけばれている昨今、ますます日資連独自のリサイクル化証明書がニーズに適した内容の充実と活用、使用率の向上を高めるべく事業活動に取り組みことが重要視されています。

各地区内においては世代交代が進み執行部の若返りが、連合会に対する認識の希薄化にならぬよう積極的な活動が必要であり、きめの細かい情報の提供が望まれます。

それには日資連における身軽で行動的な各委員会が地方からの要望や疑問に対して、従前より一層のアドバイスや協力を提供できれば、地方の状況把握が出来、強固な日資連組織になっていくものと信じております。

各地区での取り組みで妙案があればお教えください。

魅力ある業界目指し

関東資源回収組合連合会会長　上岡　克己

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春を全国の仲間の皆さんと共に迎えることができましたことを心からうれしく思います。日頃から関資連全般にわたり、格別のご理解とご指導を賜り敬意と感謝を申し上げます。

本年も万難を排し、持続可能な（サスティナブル）な循環型社会の構築のために猛進する覚悟です。どうぞご指導ご支援をお願い致します。

奇数月の第三土曜日、午前十時より開催されております関資連の理事会で、今後のすすめ方や課題について、話し合いを持ち、さらに、関資連の置かれている立場やどうあるべきなのか、フリートーキングを行い忌憚ない意見をぶつけ合い、「これで良いのか関資連」、又、創立時に思いを馳せて、原点に立ち帰り、議論を重ねる必要があると思っております。国内経済は、消費者物価の下落が続いてデフレ状態にあるとされ、雇用の一層の悪化が懸念されております。これらの先行きによって、景気の二重底が心配されております。我々、回収業者を取り巻く環境は、極めて厳しい状況下にあります。しかしながら、組織の強化、青年部の育成、魅力ある業界作りに邁進して参りたいと考えております。

終りに、各々の企業にますますのご発展、ご商売の繁昌を心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせて頂きます。

らどのような社会、経済の合理化や技術の向上といった企業努力を怠ってはならないと考えております。持続可能な循環型社会の構築は、私たち回収業者の究極の目的であります。深刻化する環境問題の解決のためには、私たちの生活様式もできる限り、環境への影響の少ないものに改善していく必要があると考えます。今年も情報を密にしながら、

連携・協調が不可欠に

日資連四国地区地区長　金田　浩盟

日資連会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

新政権の「コンクリートから人へ」の政策は、多岐にわたる業界に衝撃を与えているようです。政治、経済のことは専門家に任せ、現在の厳しい環境下での我が郷土（愛媛・新居浜）の長年の間の組合活動の成果を年頭所感の題材とさせて頂きます。

私は昭和五十七年新居浜再生資源協同組合理事長に就任し、同六十三年に愛媛県再生資源協同組合連合会理事長に就任、平成十九年まで大した功績も無く努めて参りました。

ただ一つ、スローガン「組合員間の過当競争の防止」を終始叫んで参りました。具体的には既に組合員が出入りしているお客さんには絶対手を出さぬこと。仕入競争は却って自分にも相手にも首を絞める事は自明です。いつの時代にも組合員（同業者）の地場での協調を願って参りました。

結果、組合会議には会員同士が忌憚の念無く、多くのメンバーが笑顔で出席し、また年に一度の日資連全国大会には常に多数の出席を得、全国数々の名所で楽しい旅行ができたことをこの上無く嬉しく、また懐かしく思っております。

今も我が郷土の組合員は外界の変動にさほど左右されずに、組合員全員、相互に円満で、相互にほどよい利益を授受しています。

他人の領域を荒らすものは、必ず自分のそれも侵されることは歴史が証明しています。今年は寅年です。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」は、ほかに有効な用途が多分に有るのではないでしょうか。

最後に虎でおなじみの阪神タイガースは昨年は四位と低迷したが、今年は城島の入団をたてに優勝争いを繰り広げて、猛虎の活躍と景気の向上を期待しながら、皆様共々よい年でありますことを願ってやみません。

問題解決に前向きに

日資連近畿地区地区長　山原　丈之

新年あけましておめでとうございます。全国の日本再生資源事業協同組合連合会会員の皆様にお

かれましては健やかに新年を迎えられましたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと二〇〇八年七月まで鉄くず・古紙・非鉄金属などは異常な高騰価格で翌月八月は急下落価格に、秋にはリーマンブラザーズの経営破綻により今までの経済不況が一段と大不況となりました。二〇〇九年に入って機械部品製作所、建築関係部品製作所の製造業（関西）の仕事は四分の一に落ち込み、二〇一〇年度の経営状況は不透明であります。

古紙関連では、二〇〇九年は古紙輸出価格が上昇に伴い奈良県内の行政回収抜き取り行為が多発が多発している。

我々、奈資協では、行政に対して法令を改正していただく為、二〇一〇年に全組合員で取り組んでいく所存でございます。

本年も引き続き日資連組合員の皆様とどうあるべきか共に考えていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力を願って、年賀のご挨拶とさせていただきます。

全国大会開催に意欲

日資連沖縄地区地区長　玉城　栄功

あけましておめでとうございます。

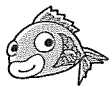
今年は日資連加盟組合員にとって希望の日の出を迎え、明るい日差しが射す一年となりますよう祈念いたします。

さて、平成二十二年度の日資連全国大会を『沖縄大会』と銘打ち沖縄で開催する運びとなりました。開催県と致しましては、日資連加盟組合員の多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

大会開催は六月二十五日（金）であります。その頃の沖縄は梅雨も明け、爽やかな初夏の風が吹き、エメラルドグリーンの海を眺め、空一面に燦燦と輝く太陽のもとで開催される日資連全国大会を機会に沖縄の初夏を楽しんで頂きたいと思います。

我々『沖縄県ゼロエミッション事業協同組合』は組合員四名の小さな組合ではありますが、誠心誠意を尽くしてご参加の皆様をお迎えし、全国大会を成功裡に執り行いたいと決意しておりますので、どうか日資連加盟の全国の皆さん、一人でも多くの方々のご参加を心よりお待ち申し上げております。

スルティ　メンソーレー　ウチナーカイ
（そろって　いらっしゃい　おきなわへ）



編集後記――

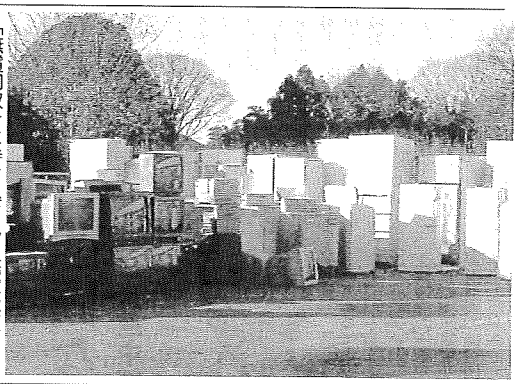
私事で恐縮しますが昨年は散々たる年でした。資源物の価格は今までの不景気時にはありえない価格帯で推移しているにもかかわらず、産業界からのスクラップの発生が激減、収益もおのずと減る中、売上げは三分の一にまで落ち込み過去に例を見ない大幅な赤字。固定費だけが帳簿上で威張っています。

昨年の暮れ、今回の不景気で閉店したはずの商店の前に長い車の行列を発見、帰り道まだ行列が続いている。行列の先には無料回収の旗が。そこへ近づくにつれ目に飛び込んで来たものは、廃家電（テレビ、冷蔵庫、洗濯機）の山。次は自転車、古タイヤ等の山、山、山。家電リサイクル法も廃棄物処理法も彼らからは何の問題も感じさせず、その勢いだけが衝撃のように飛び込んできた。

古紙の抜き取りや家電の無料回収など私達業界や社会が想像もしなかった事が商売になる時代。言い換えればモラルの無視や法律に直接触れなければOKの時代なのであれば、私達はもっと自分たちを守る（攻める）努力をしなければならない時なのでは。

あーすれっく新年号は特別企画として日資連の各ブロックの代表の方の年頭所感も掲載したため、十二月分のモニターが掲載できませんでした。各位にお託び申し上げます。

モニターや委員会情報等は日資連ホームページまで。



「無償回収」に持ち込まれた廃家電類の山

栃木県リサイクル協同組合連合会
会長　星本昭次
〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257
TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

群馬県再生資源事業協同組合連合会
会長　上岡克己
〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3
TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

埼玉県再生資源事業協同組合
理事長　細田益弘
〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1 エクセルハイム103
TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
会長　熊倉一夫
〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6 富士ビル5階A号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

東京都資源回収事業協同組合
理事長　吉川太郎
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

神奈川県資源回収商業協同組合
理事長　小松敏和
〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17 モンテベルデ横浜311号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合
理事長　山原丈之
〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2 経済会館6階
TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

岡山県資源リサイクル事業協同組合連合会
会長　平林久一
〒700-0973 岡山県岡山市下中野 347-104 ヒラキンビル内
TEL 086(246)0011・FAX 086(246)1100

新宿区リサイクル事業協同組合
理事長　佐藤一郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12 ㈱小池商店本社内
TEL 03(5363)3196・FAX 03(5336)3197